

# 平成29年度中期事業計画

特定非営利活動法人 地域おこし

# 理念

- ① 池谷・入山地区の集落と農業の継続を実現しつつ、全国の過疎の集落が抱えている集落存続問題の成功例を示す。
- ② 持続可能な新しい村づくりを実践し、循環型の社会モデルを目指し100年持続させる展望を示す。
- ③ 地元住民だけでなく地域外の関係者も含めて、新しい村づくりを進める。
- ④ 相互扶助と心豊かな社会実現を目指す。

# 目的

1. この法人は、十日町市内の池谷・入山集落において都会からの後継者の定住を促進し、持続可能な集落モデルを自ら体現している地域を作り、全国に情報発信する事を通じて、全国各地の過疎地の集落で農業の後継者を増やし、持続可能な生活スタイルを実現させ、都市部に対しても安心・安全な食料や再生可能エネルギーの供給を行う事で日本全体を持続可能な社会にする事に貢献することを目的とする。
2. 持続可能な集落モデルとは以下のように考える。
  1. 物理的に生活が成り立つ状態  
(aある程度の現金収入とb生活に必要なものの循環・自給)
  2. お互いに顔が見える関係で助け合い、安心して楽しく生活ができる状態

# ビジョン

- ① 池谷・入山を存続させる
- ② 十日町を元気にする
- ③ 日本の過疎の成功モデルを示し日本や世界を元気にする

# ビジョンから見た事業の区分

② 十日町を元気にする  
⇒②地域おこし応援事業  
⇒③地域復興支援員設置事業  
(里山プロジェクト)

① 池谷・入山を存続させる  
⇒①池谷・入山モデル作り事業

③ 日本の過疎の成功モデルを示し  
日本や世界を元気にする  
⇒②地域おこし応援事業

# 3年後の具体的な目標

- 池谷・入山集落の取組がモデルとして軌道に乗っている
  - 農地を組織として継承と発展
    - 農業従事者4名以上の体制を作る
    - お米の共同乾燥施設(ライスセンター)完成
  - 池谷・入山のフィールドを活用した交流&研修事業の収益化(事務従事者の給与を確保)
  - 移住者が子育てしながら生活できる収入の確保
- 全国各地で以下の事を行う地域おこしの団体となっている
  - 地域おこしに関するアドバイザー事業、研修、講演
  - 地域での起業支援
- 十日町市を活性化する事業が立ち上がっている
  - インターンシップから十日町市内の企業への人材紹介
  - 十日町市内の企業が新しい事業を立ち上げる研修会の開催

# 3年後の姿を実現するために今年度行う重点事項

- 池谷・入山モデル作り事業
  - 農業生産
    - 組織として稲作技術と段取りの安定
    - ライスセンター建設の準備(使用単価等の決定)
    - 経費削減
  - 山清水米販売
    - 予約を増やすための施策実施
  - 交流事業を収益化する
    - 企業や意識の高い人材向けの研修の受入
  - 高齢者が安心して暮らし続けられる体制構築
    - 冬に集まって運動をする場を持つ
    - 集落内の除雪を請け負う

# 3年後の姿を実現するために今年度行う重点事項

- 地域おこし応援事業
  - 飛渡地区の将来ビジョン実現に向けて応援
    - お米の沖縄等への出荷に協力
    - 生産者を募ってポップコーンを関東のお店に出荷する取組み
    - ウェルネスツーリズム開催の支援
    - 新水の道楽神に必要なワラを供給
  - 十日町市を活性化する事業
    - 人材紹介業を開始するための準備
    - 企業へのインターンシップ事業を独自に試行
    - 起業・新規事業支援の講座を定期的実施
  - 全国各地の地域おこしの応援
    - 地域おこし協力隊アドバイザー事業を十日町市以外で実施
    - 地域コーディネーターを新潟県内で職業にできる枠組みを作る
    - 地域おこしに関する研修会を実施
- 地域復興支援員設置事業
  - 里山プロジェクト単体で独立するための準備